

高村智恵子～「ほんとの空」の下で～

詩人・彫刻家である高村光太郎の妻にして、詩集『智恵子抄』のモデルにもなった高村智恵子(1886年(明治19年)5月20日～1938年(昭和13年)10月5日,旧姓:長沼)。現二本松市の酒造家に生まれ、やがて東京で洋画家の道を志すようになった彼女は、光太郎との運命的な出会いを果たします。光太郎との恋愛、結婚そして発病と死…。今なお詩を通して語り継がれる彼女の人生を、詩中の存在だけではない様々な角度からスポットを当て、ご紹介します。

Rがついているのは、館内でご覧いただく資料です。貸出しておりません。

智恵子その人

高村智恵子 その若き日	松島光秋／著	永田書房	1977	L289/T22/1
智恵子の10～20代頃の日々を、周囲の人間関係を中心に書いています。日本女子大学の同級生や画家、青鞥社の面々など、光太郎以外の人々にも多くふれています。				
ふるさとの智恵子	佐々木隆嘉／著	桜楓社	1978	L289/T22/2
出生～福島高等女学校卒業までの智恵子や、実家である長沼家のことなど、福島県における智恵子にスポットを当てています。				
詩人の妻 高村智恵子ノート	郷原宏／著	未来社	1983	L289/T22/3
主に光太郎の詩を通じた視点から、「詩人の妻」としての智恵子を考察した1冊です。				
アルバム高村智恵子 その愛と美の軌跡	北川太一／編	二本松市教育委員会	1990	L289/T22/8
「アルバム」の名が示すとおり、智恵子・光太郎の人生を豊富な写真とともにたどった1冊です。2人自身の写真に加え、書簡や作品からも、その時々々の智恵子の心境が感じられます。				
画学生智恵子 高村光太郎ノート	北川太一／著	蒼史社	2004	L289/T22/34
「太平洋画会研究所」の研究生であった頃の智恵子にスポットを当て、智恵子と芸術との関わりをエピソードを交えながら解説しています。				
スケッチで訪ねる『智恵子抄』の旅 高村智恵子52年間の足跡	坂本富江／著	牧歌舎東京本部	2015	L289/T22/46-2
著者が智恵子の足取りを辿った旅の記録を、スケッチとともにまとめたものです。智恵子の故郷である二本松や、療養に訪れた不動湯温泉(現在は火災により休業中)等が紹介されています。				
智恵子と光太郎 たぐいなき二つの魂の出会い	金田和枝／文	歴史春秋出版	1986	L289/T22/11
この足どり 高村智恵子 福島県女性のあゆみ叢書 8	吉田千代子／著	福島県女性のあゆみ研究会	1994	L289/T22/16
R 星の運命を生きた女たち	山崎洋子／著	講談社	1995	L289/T22/35
p120-132「自らの虚像に追いつめられた『智恵子抄』のヒロイン 高村智恵子」				
愛に生きて 智恵子と光太郎	伊藤昭／著	歴史春秋出版	1995	L289/T22/18
R 智恵子が歩いた福島周辺 女学校時代・原釜海岸・五色温泉	上田裕子／[著]	上田裕子	[1996]	L289/T22/19
R 高村智恵子読本	風間光作／編	高村光太郎詩の会	1968	L289/T22/5
智恵子抄を歩く 素顔の智恵子	大島裕子／著	新典社	2006	L289/T22/37
二本松と智恵子 曖昧をゆるさず妥協を申し込んだ智恵子五十二年の生涯	勝畑 耕一／文	文治堂書店	2013	L289/T22/47
「智恵子抄」をたどる	成田 健／著	無明舎出版	2015	L289/T22/50

智恵子の作品たち

精神病治療のため東京南品川のゼームス坂病院に入院した智恵子は、光太郎からもらった千代紙を手し、切絵の制作をはじめました。1年に満たない月日の中で生み出された作品数は千数百点にも及び、その描写の細やかさと鮮やかな色彩が見る者を楽しませてくれます。智恵子の死後に出版された紙絵作品集、智恵子の書いた文章などをご紹介します。

R 『青鞥』第1巻第1号 (複製日本の雑誌)		講談社	1982	Z051/F8/41
平塚らいてう、中野初子らが中心となって発刊した、女性による月刊誌『青鞥』。創刊号の表紙を描いたのは、当時太平洋画会研究所の研究生だった長沼智恵子でした。真っ直ぐに立つ外国人風の女性の姿が描かれています。				

智恵子相聞 生涯と紙絵 高村光太郎ノート	北川太一／著	蒼史社	2013	L289/T22/31-2
智恵子の紙絵制作に関するエピソードに加え、光太郎や周囲の人々が如何に智恵子の紙絵を世の中に広めていったかが解説されています。				
R 新風土 第2巻第2号	島崎 蕨助／編	小山書店	1939	L289/T22/33
「智恵子の切り抜き絵」 高村光太郎／著 光太郎が智恵子の紙絵の存在を初めて世の中に広く知らしめた記事です。作品を見た歌人・斎藤茂吉は直ちに光太郎へ手紙を送り、「普通の病人には不可能の事」と称えています。				
智恵子紙絵	高村豊周／編	筑摩書房	1957	726.9/T
光太郎の弟、豊周(とよちか)によって編纂された、初の智恵子紙絵作品集です。				
智恵子の紙絵	高村豊周／編	社会思想社	1965	726.9/T/2
智恵子紙絵	山本太郎／編	筑摩書房	1979	LA726.9/T1/1
智恵子から光太郎へ	津村節子／文	講談社	1979	L726.9/T/2
生誕100年記念 智恵子紙絵展	西武アート・フォーラム／編	西武美術館	[1986]	L726.9/T1/1
命と愛のメッセージ	高村智恵子／〔作〕	安達町	1992	L726.9/T1/3
智恵子紙絵の美術館 心ゆさぶる美の感動・噴出する抒情のあたたかさ	高村智恵子／〔作〕	芳賀書店	1996	L726.9/T/4
恋文 画集・智恵子抄	高村光太郎・智恵子／詩・絵	講談社	1996	L726.9/T/5
智恵子 その愛と光彩 高村光太郎の彫刻と智恵子の紙絵展	竹内恵美／編	[イー・エム・アイ・ネットワーク]	1998	L726.9/T/7
智恵子抄 高村光太郎と智恵子-その愛	高村 光太郎／〔作〕	菊池美術財団	2010	L726.9/T1/13
高村光太郎全集 別巻	高村光太郎／〔著〕	筑摩書房	1998	L289/T22/23
p117-185「智恵子作品」(文筆作品・書簡を収録しています)				
光太郎智恵子	高村光太郎／著	龍星閣	1990	L289/T22/10
智恵子と光太郎の詩文・書簡を、年代順に整理したものです。				

夫・高村光太郎と智恵子

智恵子抄アルバム	北川太一／〔監修〕	芳賀書店	1995	L289/T22/17
光太郎・智恵子の生涯を、『智恵子抄』の詩や2人の訪れた場所の写真と共に追った1冊。2人の生涯や作品について満遍なく紹介されています。				
光太郎回想	高村豊周／著	有信堂	1962	L911.5/T18/8
光太郎の弟、豊周(とよちか)が、光太郎の生涯を振り返った1冊。智恵子に対する光太郎の父母の反応など、親族ならではの視点から光太郎・智恵子が描かれています。				
智恵子抄の光と影	上杉省和／著	大修館書店	1999	L911.5/T18/15
『智恵子抄』の中には現れてこない、光太郎・智恵子の苦悩や病との闘いにスポットを当てています。				
R 高村光太郎読本	草野心平／編	学習研究社	1959	L289/T22/26
R 高村光太郎と智恵子	草野心平／編	筑摩書房	1959	L289/T22/27
智恵子と光太郎 高村光太郎試論	平田好輝／著	東宣出版	1973	L289/T22/22
女の首 逆光の「智恵子抄」	黒沢亜里子／著	ドメス出版	1985	L289/T22/4
高村光太郎のフェミニズム	駒尺喜美／著	朝日新聞社	1992	L289/T22/12
光太郎と智恵子	北川太一／〔ほか〕著	新潮社	1995	L911.5/T18/13
R 高村光太郎を語る 光太郎祭講演	北川太一／著	女川・光太郎の会	2002	L289/T22/29
高村光太郎 智恵子と遊ぶ夢幻の生	湯原かの子／著	ミネルヴァ書房	2003	L289/T22/30
高村光太郎・智恵子展 その芸術と愛の道程	仙台文学館／編	仙台文学館	2006	L289/T22/36
智恵子抄の光景	大島 裕子／著	新典社	2009	L289/T22/43

『智恵子抄』を読む

出版社「龍星閣」の主人澤田伊四郎が、詩「風にのる智恵子」に感銘を受け、光太郎の詩から智恵子に関するものを抜き出し、詩集として1941年(昭和16年)に出版したのがこの『智恵子抄』です。澤田氏自身による丹念な編纂と、刊行を拒否する光太郎との粘り強い交渉の末、今なお読み継がれるこの詩集は誕生しました。

紙絵と詩 智恵子抄	伊藤信吉,北川太一,高村規/共編	社会思想社	1965	911.5/T3/11
智恵子抄 新版	高村光太郎/著	龍星閣	1991	L911.5/T18/3
智恵子抄その後 新版	高村光太郎/著	龍星閣	1988	L911.5/T18/4
智恵子抄・道程	高村光太郎/著	ポプラ社	1989	L911.5/T18/5
レモン哀歌 高村光太郎詩集	高村光太郎/著	集英社	1991	L911.5/T18/1
智恵子抄 新潮文庫	高村光太郎/著	新潮社	1991	L911.5/T18/2
智恵子抄 五十周年記念愛蔵版	高村光太郎/著	龍星閣	1991	L911.5/T18/7-1
智恵子抄〔別冊〕智恵子抄の五十年	高村光太郎/著	龍星閣	1991	L911.5/T18/7-2
新編智恵子抄	高村光太郎/著	ノーベル書房	1994	L911.5/T18/10
詩とメルヘン 第23巻6号		サンリオ	1995	L911.5/T18/12
p4-15 詩人の肖像 高村光太郎「智恵子抄」半世紀の時を経ても、色褪せることなく胸を打つ純愛詩集。				
詩集 智恵子抄	高村光太郎/著	日本図書センター	1999	L911.5/T18/16

<『智恵子抄』の研究書>

鑑賞智恵子抄	伊藤信吉/著	角川書店	1968	L911.5/I6/1
『智恵子抄』の世界	大島龍彦/編著	新典社	2004	L911.5/O19/1
智恵子抄の新見と実証	大島龍彦/著	新典社	2008	L911.5/O19/2
智恵子抄を読む	大島龍彦/著	新典社	2011	L289/T22/45

智恵子を題材とした文学作品・その他の作品

原色の女 もうひとつの『智恵子抄』	田下敬子/著	彩流社	1988	L289/T22/7
智恵子飛ぶ	津村節子/著	講談社	1997	L913.6/T17/3
小説 智恵子抄	佐藤春夫/著	日本図書センター	2000	L913.6/S31/2
智恵子抄 深愛 マンガで完読	高村光太郎/原作	日本文芸社	2009	L911.5/T18/21
歌曲集 智恵子抄	清水脩/作曲	音楽之友社	1978	L767.6/T1/1
歌曲集 智恵子抄 改訂新版	別宮貞雄/作曲	音楽之友社	1999	L767.6/T1/2

智恵子関連の雑誌記事

美術手帖 No.45	美術出版社	1951	Z705/B1
p26-29 切抜絵の美 高村智恵子婦人の遺作について 眞壁仁/[著]			
国文学 解釈と教材の研究 第34巻4号	学灯社	1989	Z910.5/K2
p127-133 『智恵子抄』の実像と虚像 安藤宏/[著]			
国文学 解釈と鑑賞 第40巻13号	ぎょうせい	1975	Z910.5/K3
特集:文学における妻の投影 p55-62 光太郎・智恵子 〈『智恵子抄』私見〉 分銅惇作/[著]			
国文学 解釈と鑑賞 第49巻9号	ぎょうせい	1984	Z910.5/K3
p111-115 作品分析 千鳥と遊ぶ智恵子 井上百合子/[著]			
国文学 解釈と鑑賞 第53巻10号	ぎょうせい	1988	Z910.5/K3
特集:続・作家論と作品論 p130-143 『智恵子抄』論 光太郎智恵子の男女関係の現実 飛高隆夫/[著]			

彷徨月刊 1988年10月号	弘隆社	1988	L289/T22/6
特集:高村智恵子 いま、智恵子に 北川太一／〔著〕 高村のおばさんのこと<インタビュー> 尾崎実子／〔談〕 田村俊子と智恵子 黒澤亜里子／〔著〕 高村智恵子さま 山本有紀乃／〔著〕 智恵子の書 疋田寛吉／〔著〕 二人の磁場 杉本優／〔著〕 無辺際を飛ぶ天の金属 加藤剛／〔著〕 「智恵子抄」を演じて 岩下志麻／〔著〕 智恵子の苦しみ 駒尺喜美／〔著〕 ひたむきな人智恵子さん 黛節子／〔著〕			
国文学 解釈と鑑賞 第63巻9号	ぎょうせい	1998	Z910.5/K3
特集:高村光太郎の世界 光太郎の女性観 渡邊澄子／〔著〕 作品の世界『智恵子抄』 平岡敏夫／〔著〕 光太郎の書簡 木村一信／〔著〕 高村光太郎文学散歩(拾遺編) 渡部芳紀／〔著〕			
高村光太郎研究 第21号	高村光太郎研究会	2000	L289/T22/24-21
特集:高村智恵子 智恵子、ゼームス坂病院へ(一) 北川太一／〔著〕 洋画家としての智恵子 上田裕子／〔著〕 虚構構築に懸ける光太郎の<力業> 河野基樹／〔著〕 <書評>最近の智恵子関連図書から 上杉省和著『智恵子抄の光と影』 小松原秀行／〔著〕 新・フェミニズム批評の会編『『青鞥』を読む』 佐藤浩美／〔著〕 藤倉四郎著『カタクリの群れ咲く頃の一野村胡堂・あらえびす婦人ハナー』 野村昭子／〔著〕			
R 高村光太郎研究 第26号	高村光太郎研究会	2005	L289/T22/24-26
p22-33 『智恵子抄』終章の詩をめぐって—「梅酒」・「松庵寺」・「報告」を中心に— 大島龍彦／〔著〕			

インターネットで閲覧できる智恵子関連論文・雑誌記事

大学の機関リポジトリや、国立情報学研究所の学術情報データベース「Cinii」で無料閲覧できる智恵子関連の論文・雑誌記事をご紹介します。閲覧環境によってはご覧いただけない場合もありますので、ご注意ください。

『日本文学』13巻6号		日本文学協会	1964
p384-394 『智恵子抄』試論 平井基澄／〔著〕			
『駒沢短大国文』12号		駒澤短期大学国文科研究室	1982
p54-69 智恵子抄:光太郎、智恵子の交錯する愛の日々を追って 遠藤恵美／〔著〕			
『九州大谷研究紀要』11号		法政大学国文学会	1985
p88-89 <書評>黒澤亜里子著『女の首—逆光の「智恵子抄」』 北田幸恵／〔著〕			
『九州大谷研究紀要』11号		九州大谷短期大学	1985
p103-120 智恵子抄の朗読指導について 安達泰一／〔著〕			
『日本文学』35巻6号		日本文学協会	1986
p92 「制度」としての『智恵子抄』 黒澤亜里子／〔著〕			
『学海』6号		上田女子短期大学総合文化研究所	1990
p74-80 「智恵子抄」における光太郎の心情 水庫俊江／〔著〕			
『活水論文集 共通教養・一般教育編』41号		活水女子大学	1998
p1-17 『智恵子抄』第一期の恋愛詩:彫刻されない裸婦 湯原かの子／〔著〕			
名古屋学芸大学研究紀要 教養・学際編(1)		名古屋外国語大学	2005
p98-114 もう一つの『智恵子抄』 大島龍彦／〔著〕			
名古屋学芸大学研究紀要 教養・学際編(2)		名古屋外国語大学	2006
p154-142 『智恵子抄』における「サンタマリア」考 大島龍彦／〔著〕			
名古屋学芸大学研究紀要 教養・学際編(3)		名古屋外国語大学	2007
p140-124 詩集『智恵子抄』における人稱をめぐって 大島龍彦／〔著〕			
名古屋学芸大学研究紀要 教養・学際編(4)		名古屋外国語大学	2008
p142-127 『智恵子抄』考:詩「人生遠視」とその機能 大島龍彦／〔著〕			